

研究ニーズの 調査結果について

ArCS II北極航路課題2020年度報告会

2021/3/22

金野 祥久(工学院大)

「社会実装」を目指した研究

- 理想的な展開: 人間・社会への影響評価 → ベターな選択肢や対応策の提言 → 提言が採用される(社会実装)
- 研究者のやること: ルールや経済活動の前提となるエビデンスを、論文発表等を通じて社会に提供すること

2020年9月キックオフミーティングにて

ニーズ・シーズマトリクスの作成

- 社会実装に向けて, ニーズの把握およびステークホルダーとの対話は絶対に必要. その上で自分が貢献できる場所で活動する.

2020年9月キックオフミーティングにて

「社会実装」を目指した研究

- 本研究課題の目的から外れない範囲で、自分がやりたい研究にうまく引きつけてください。
- ただし皆様の研究者としての好奇心や問題意識に基づく研究は、この研究課題としてよりも科研費などで実施してください。もちろん、それへの足がかりとして本研究課題の成果を使っていただくのは大歓迎です。
- この研究課題では社会ニーズと社会実装を意識して研究を進めてください。

2020年9月キックオフミーティングにて

北極航路課題・ニーズリスト

ArCS II北極航路課題・ニーズリスト

docs.google.com/spreadsheets/d/1BXAAQq0d044tY5u6C-mkK66qjGmoZPEcw2gcqUSpFps/edit#gid=1175012821

ArCS II北極航路課題・ニーズリスト (KOM用)

ファイル編集表示挿入表示形式データツールアドオンヘルプ

100%

¥ % .0 .00 123

Arial

10

B I S A

田 E

≡ ↓ ↵ ↶ ↷

🔗 📄 📊 🔍 Σ

あ

A1:D1

ニーズ

	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	
			ニーズ									担当
	ジャンル	ニーズ・テーマ	主な受益者・ターゲット	ソリューション (例)	金野	松沢	館山	佐川	泉山	澤村	尾関	
1												
2												
3	運用	SAR、緊急時避難の手段とコスト	船社、船主	リスク評価								
4	運用	海図、アイスチャート、海水予報サービス	船社	情報端末の開発、データの精度向上				○	○			
5	運用	Bergy bitや氷山水を検知する技術	船社、造船所、センサメーカー	カメラ・レーダー等の基礎・応用技術の開発					○			
6	運用	情報通信インフラの整備	船社、通信企業	サービス需要予測と価格設定								
7	運用	船員、アイスパイロット等の人的資源の養成	船社、ルール策定者	リスク分析、トレーニングマテリアル提供								
8	運用	操船技術、運用法、PWOM	船社	体系化、ガイドライン策定								
9	運用	航路探索、性能推定による航路最適化 (短期予測)	船社、気象会社	数値予報、航路探索等のツール開発	○			○				
10	運用	氷況データ取得手段の開発、衛星データ	船社、住民、科学者	システム構築、データ公開			○					
11												
12	運用	低温下での積荷の安全性	荷主、船社	実態調査、ガイドライン策定								
13	環境	環境負荷影響の予測と評価	住民、自治体・政府、ルール策定者	環境負荷の定量化、ハザードマップ	○							
14	環境	油流出事故への対応・回収手段	住民、自治体・政府、開発企業	対応策、回収効率の定量化		○						
15	経済	船舶建造費、転売価格	船主、船社、投資機関	実態調査、ライフタイムコスト計算								
16	経済	砕氷エスコート、アイスパイロット、保険	船社、船主、保険業者	実態調査、費用最適化								
17												
18	経済	中長期での可航性予測の利用	船主、荷主、船社	オープンウィンドウ予測の利用								
19												

+

≡

ニーズリスト

協働形態

データ探索

今後の予定

- シーズ・ニーズ・マトリクス(2020年度版)の公開、意見収集開始
- (英語版の作成?)
- 2021年度中にステークホルダーミーティングを開催し、研究の方向性について広く意見を募り、検討
 - 報告会とは別。夏～秋頃を予定。

ご参加の皆様へ アンケートへのご協力お願い

ArCS II北極航路課題2020年度報告会

2021/3/22

金野 祥久(工学院大)

アンケート

- アンケートを実施いたします。ご参加の皆様
に近日中にメールでアンケートサイトをご案内
しますので、ご回答をお願いいたします。
- アンケートの中で、今後の報告会のご案内
送付についてもお伺いします。

発表者の皆様にお願ひ

- 発表に使った資料(PowerPointスライド等)で、公開してよい部分を金野にお送りください。公開不可の場合は、その旨お知らせください。
- (後日別途メール等でご相談します。)

本日の参加者数

- 参加登録者数:140名 (3/22 15時現在)
- 同時参加者数(ピーク時):約90名